

第12回 日本ファシリティマネジメント大会
ヘルスケアFM研究部会

新病院移転とヘルスケアFM —理念の実践に向けて—

平成30年2月22日
埼玉石心会病院
事務部 平沼昌弘

平成30年11月1日 新築移転



1、はじめに

○社会医療法人財団石心会 理念

- 断らない医療
- 患者主体の医療

○埼玉石心会病院 目標

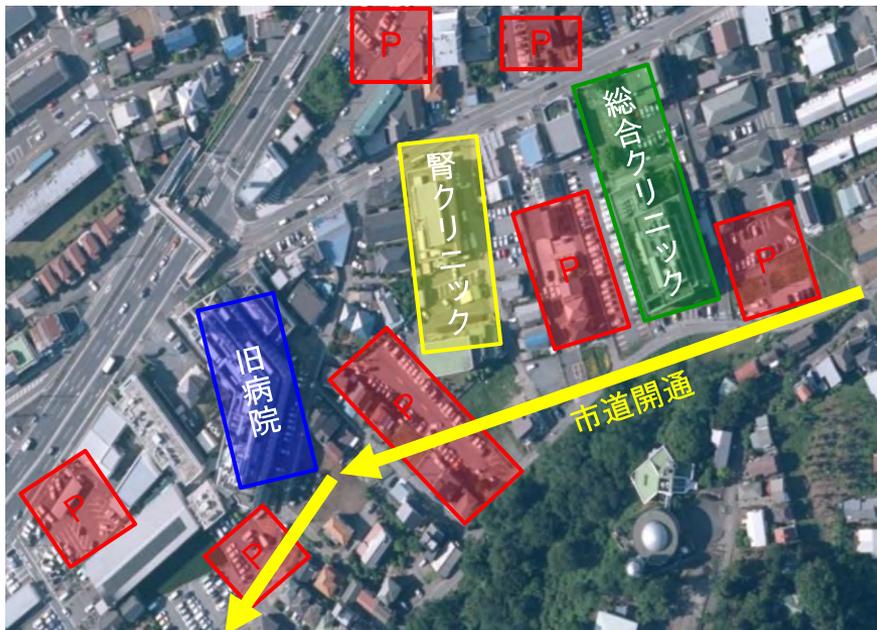
- 患者さん主体の断らない医療を実践します。
- 高度で安全な医療を提供します。
- 地域に密着した医療と福祉を推進します。
- 全職員がやりがいをもって働くことのできる職場づくりを目指します。

○急性期医療への考え

- 救急とは患者さんが決める（何次などは無い）
- 現場の救急隊判断に病院側の再判断は不要
- 先ず受入れ（診察）しなければ分からない
- ベッド満床は、お断り理由にならない

2、旧病院の課題（349床）

- 老朽化・増改築困難 : 昭和62年開院、隣接土地不足
- 市道開通（平成30年） : 駐車場横断（全事業所賃借物件）
- 個室不足・感染対策 : 16床／349床、患者動線問題
- 救急スペース不足 : HRベッド、救急車搬入口
- 断らない医療（理念） : メンタル面（精神論）、定着率
- 患者・職員アメニティ : レストラン、休憩室、スキル向上
- BCP対応 : 災害医療、備蓄、交通便利等



3、新病院引越しPJ（患者移送）

○移転日 11月1日（水）8時移送開始

○患者数 約260名＋前夜急患（入院率75%）



○ミッション

- 救急患者には全て対応（救急車・急患・緊急手術）
- 移送完了まで新旧病院で救急対応を維持する。
- 重症患者の移送に際し、行政救急隊を使用しない
- 新電子カルテシステムへ同時移行する

※一部事前退院、当日の面会、予定手術のみ中止

○ミッションに向けた施策

- 11月とした理由
気象面（台風、雨、気温）
患者数少、感染症少

- 移送ADL調査（3カ月）
重症／担送／車椅子／独歩

- ルート・車両
3ルート計画（重症度別）
病院救急車 3台
寝台・車椅子 16台
マイクロバス 2台 **計21台**

- 搬出方法・検証会
旧病院：EV 4基、検証3回
新病院：EV 10基、検証1回



患者移送計画(案)

○寝台車：100名／11台（法人救急車3台、民間救急車4台、民間寝台車4台）重症、中症、軽症の3分類

○車椅子：150名／8台（民間車両6台、さやま腎クリニック車両2台）

○独歩：100名／2台（民間車両2台）

患者数	寝台100名										車椅子150名								自力100名				
	石心会			神全日救				ハートフルグループ			ハートフルグループ					腎クリニック			〇〇バス				
	A(救急車-重症)			B(救急車-中症)				C(寝台車-軽症)			D(車椅子)					E(独歩)							
便名	A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	B-3	B-4	C-1	C-2	C-3	C-4	D-1	D-2	D-3	D-4	D-5	D-6	D-7	D-8	E-1	E-2		
定員	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	4名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	20名	20名		
9:00	1便	1便	1便					1便	1便			1便	1便	1便									
9:20				1便	1便	1便	1便			1便	1便					1便	1便	1便					
9:40	2便	2便	2便					2便	2便			2便	2便	2便								1便	1便
10:00				2便	2便	2便	2便			2便	2便					2便	2便	2便				2便	2便
10:20	3便	3便	3便					3便	3便			3便	3便	3便									
10:40				3便	3便	3便	3便			3便	3便					3便	3便	3便					
11:00	4便	4便	4便					4便	4便			4便	4便	4便								3便	3便
11:20				4便	4便	4便	4便			4便	4便					4便	4便	4便					
11:40	5便	5便	5便					5便	5便			5便	5便	5便				1便				1便	1便
12:00				5便	5便	5便	5便			5便	5便					5便	5便	5便				1便	1便
12:20	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩			休憩	休憩	休憩				休憩				休憩	休憩
12:40				5便	5便	5便	5便			5便	5便					5便	5便	5便					
13:00	6便	6便	6便					6便	6便			6便	6便	6便				2便				2便	2便
13:20				6便	6便	6便	6便			6便	6便					6便	6便	6便					
13:40	7便	7便	7便					7便	7便			7便	7便	7便				3便					
14:00				7便	7便	7便	7便			7便	7便					7便	7便	7便					
14:20	8便	8便	8便					8便	8便			8便	8便	8便									
14:40				8便	8便	8便	8便			8便	8便					8便	8便	8便					
15:00	9便	9便	9便					9便	9便			9便	9便	9便									
15:20				9便	9便	9便	9便			9便	9便					9便	9便	9便					
15:40	10便	10便	10便					10便	10便			10便	10便	10便									
16:00										10便	10便					10便	10便	10便					
16:20																							
移送数	10名	10名	10名	8名	8名	8名	8名	10名	10名	10名	10名	40名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	6名	6名	60名	60名	
	102名										152名								120名				

◎地域へ迷惑をかけない（渋滞・平常の福祉車両利用）

平成29年11月1日 旧病院〈鶴ノ木1-33〉



- ◎搬送A D L 調査＋**県内広域の車両確保**（一般利用考慮）
- ◎期限制定（日没）＋医師同乗＋**ドアtoドア**
- ◎E V 仕様（間口・速度）＋**ベッド乗捨てスペース確保**

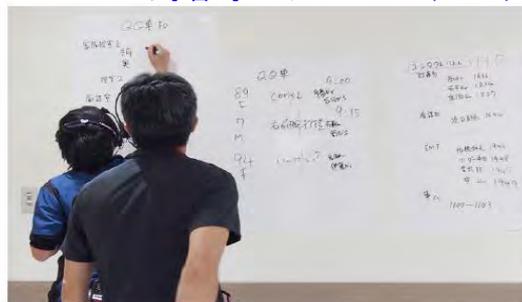
平成29年11月1日 新病院〈入間川2-37-20〉



消防救急車（一般） 移送車両（自院）



到着時トリアージ（ER）



- ◎ 移送開始（8時）と同時に新病院側で通常業務開始
- ◎ 患者さんの身の回りの軽量化（自宅持帰り＋外注委託）
- ◎ 重傷者到着時トリアージ → 医療安全・災害対応訓練

4、新病院概要

○設計コンセプト

生命を癒すバイオフィリア

自然現象、色彩、素材、
形態を取り入れた環境。
時間を共有する空間で、
自然の要素が生命を癒し、
力を与える。



オンリーワンの病院を創る

独創性：バイオフィリア
迅速性：動線短縮、低層
連携性：4看護単位フロア
継続性：災害対応
柔軟性：変化への対応力



○旧病院との比較

内容	旧病院	新病院
構造	R C 造	R C 造 一部鉄骨造
延べ面積	12, 743m ²	34, 945m ² (2. 7倍)
病床数 内訳	349床 一般255床 重症28床 回復 58床 緩和 8床	450床 一般351床 重症39床 回復 40床 緩和20床
有料個室	16室 (4千円~1万円)	69室 (5千円~5万円)
H R ベッド	8床	25床
入院保証金	¥50, 000	廃止 ※転退院促進
建築	耐震構造	免震構造
電力供給	2系統+自家発電	2系統+UPS+自家発電
水 (受水槽)	井水+市水 (100t)	井水+市水 (180t)
ガス	L P ガス◎	都市ガス△ (CGS有)
機能の中核	総合受付 (事務部)	防災センター

○自然要素・色彩等



■ オリーブ



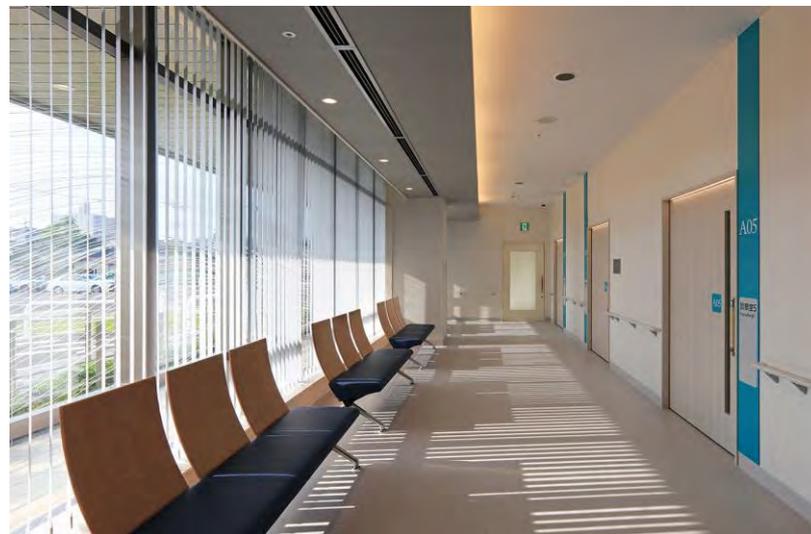
■ E R（初療）



■ 総合案内



■ 救急外来



■ リハビリリ（屋外）



■ リハビリリ（病棟）



■ 手術ホール



■ 防火区画



■手術室 1 (ハイブリッド)



■MRI



■手術室 1



■手術室 2



■ 3 A



■ 3 B



■ 血液淨化



■ 3 C



■ 4 A



■ 4 B



■ 4 D



■ 4 C



■ 5 A



■ 5 B



■ 5 D



■ 5 C



○交通関係

- タクシープール : 常時2台待機
- 路線バス乗入れ : 狭山市駅2路線（朝夕時間帯除く）
- シャトルバス : 新病院⇔総合C L（20分間隔）

○アメニティ

- 喫茶 :
- 売店 :
- レストラン : 職員用／一般用 ※K P I
- 通院環境 : Wi-Fi

○その他

- カンファレンス
- 図書室 : 専属司書（常勤）採用
- 仮眠室 : 70室（夜間職員約100名）
- 医局 :
- Guest Room : 2室、遠方からの医師、来客等
- Hospital Lounge : 1室、グループ会議、懇親等

■ 仮眠室



■ 図書室（常勤司書）



■ 医局 ※8:15申送り



■ 医局個人ブース



■ Guest Room Hospital Lounge



5、新病院運用

○看護師負担軽減

○P F M導入

○救急患者対応

○危機管理（B C P）